

歩く：マジで人生が変わる習慣

池田光史 [著] . News Picks , 2025.2
 配架場所 3F 図書 498.35//I32

世界的にみても日本人は歩いているほうですが、これを読めばさらに歩きたくなるはず!! 人生が変わる?! またまた…と思った方は、とりあえず読んでみよう。ただ歩くという行為を見直すチャンスを与えてくれます。

紹介者：大久保（担当：資料管理）



ビブリオバトルを楽しもう！



今年もこの季節がやって来た！
 10月7日(水)開催のビブリオバトルを控え
 歴代の発表本をズラリと展示します。



インフォメーション



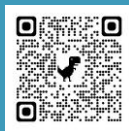
ビブリオバトル、見に来てね！
 ～あなたの1票でチャンプ本が決まる～

ビブリオバトルとは？

ビブリオバトルとは、制限時間5分間でおすすめの本を紹介しあう書評ゲームです。観客が一番読みたくなった本に投票し、「チャンプ本」を決めます。

10.7水 13:45 START!

会場 図書館坂戸本館1階



詳細



薬学部、理学部化学・生命科学科にオススメ！

10月開催データベース講習会

● JoVE 実験解説動画
 JDreamⅢ 医・薬・科学文献をまとめて探せる

● 医中誌Web 国内の医学文献情報を探せる

時間：3限 13:45～15:30
 開催方法：オンライン（Zoom）



日程は決まり次第図書館HPにてお知らせします。

図書館彙報

7/2 日経テレコン・日経BP記事検索サービス講習会開催（オンライン）
 7/2 第31回ライブラリーラウンジ「大学生のための常識～最後の一問、あなたは解ける？～」開催
 7/10 iThenticate講習会開催（オンライン）
 7/16 2026年度地域相互協力図書館館長及び主催者の集いを開催

7/30・8/6・7・21 「坂戸市立図書館：楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール応援講座」に学生アドバイザーが参加

■ オープンキャンパス（7/19、8/1、2、22） 図書館見学者 960名、キーワードラリー参加者 590名
 ■ 図書館見学（7/6、7、16、8/1、8/27）高校生他252名

図書館とレポートの思い出

別科 准教授 高山 幸巳

日本語教師になりたいくて大学に入り直したのは36歳の時でした。昼間は都内の会社で正社員として働き、夕方から某大学の文学部で夜9時までの授業を受け、その後図書館で課題やレポートの資料を探して帰宅するという毎日でした。図書館で過ごせる時間は授業前の数十分と授業後の1時間だけ。本を読むのも課題をするのも朝の通勤電車の中でした。そんな中で、静かで広々とした図書館で過ごせる時間はとても貴重で、そこは心地よい安らぎの空間でもありました。と同時に、膨大な蔵書に囲まれ頭がクラクラし、自分の知識の乏しさに焦ったりへこんだりすることもしばしばでした。インターネットが普及し、AIが瞬時に何でも教えてくれる時代に学んでいるみなさんにはあまりピンとこない話かもしれませんが、

でも、私はAIの無い時代に一生懸命紙の本を読み、一生懸命考えてレポートを書いたことはとても良かったと思っています。特に今でも鮮明に記憶に残っているのは芥川龍之介の作品を批判的に読む授業と平家物語を深く読み込む授業の期末レポートを書いた時のことです。どちらの授業も先生方の講義が本当に素晴らしく興味深いものでした。ですから、テキストを読むこと、先行研究を調べることもとても楽しかったのです。自分の考察、意見がちゃんと伝わるようにレポートの構成も真剣に考えて書きました。そして何より嬉しかったのは、夏休みが終わる頃、レポートを読み評価してくださった先生から、とても温かく丁寧なコメントが添えられた原稿が封書で返送されてきたことです。教師がどうあるべきかも教えて頂いたような気がしました。そして、その原稿は今でも大切にっています。

最近は私が日本語を教えている外国人留学生も、課題の作文やメールの返信文までAIの力を借りて、添削の余地がないほど美しい日本語で書いてきます。それはすぐにわかってしまいますけどね。AIに作ってもらったレポート、もしかしたらよい成績がもらえているかもしれません。でも、それはみなさんの頭に、心に残っていますか？大学の4年間、何を学んだのか、卒業後に何も思い出せないのは悲しくないでしょうか。みなさんには、ぜひこのかけがえのない時間を大切にしてほしいと思います。

やってみよう！

～ホラー&ミステリー読書診断～

P.2



図書館HPや公式Xでは、役立つ情報をお知らせしています。また、図書館員がオンラインでも資料の相談を受け付けています。



図書館HP



図書館公式X



オンライン相談

トリック・オア・ブック?

～ホラー&ミステリー読書診断～

あなたが好奇心をそそられるものは？
右の一覧から選んでね。ハロウィンの夜にピッタリの
ホラー&ミステリー本を紹介します。

1. ハロウィンパーティで起こる殺人事件
2. 一族に伝わる奇妙な因習
3. 怪談話
4. 心の闇の連鎖
5. 暗闇
6. 家にまつわる怪異
7. 侵食される日常
8. 無限ループ
9. 何が怖いかわからない

選んだら該当
する番号の本を読
んでみてね
本の場所は図書館
HPからタイトル
で探せるよ



『ハロウィーン・パーティ』

アガサ・クリスティー 著；中村能三訳
(ハヤカワ文庫) 早川書房



少女の死で目覚めた
過去の亡霊
殺人を目撃したと
語った少女が、
ハロウィーン・パー
ティーで殺された。
嘘つきと呼ばれた
少女の目撃談は
真実だったのか？

『死に髪を棲む家』

織部泰助 [著] (角川ホラー文庫)
KADOKAWA



口の中を気にせず
にはいられない
素封家には、死者の
口に髪を詰めるとい
う奇妙な因習があ
る。そこで起きた怪
事件を解決してい
くうちに隠されてい
た、おぞましい秘密
が明らかになる。

『虚魚』

新名智著 KADOKAWA



探しているのは、
人を殺せる怪談
釣りあげたら死ぬ魚
がいるらしい、そん
な噂を聞いて探し始
めたのは「体験した
人が死ぬ怪談を探
す怪談師」と「呪いか
崇りで死にたい少女」
のコンビ！

『闇祓』

辻村深月 [著] (角川文庫)
KADOKAWA



あなたの隣にも
闇ハラはいる
マウンティング、過
剰な正義感、支配的
な善意…。人間の心
の闇が、誰かの日常
を壊していく。知ら
ないうちに、あなた
も誰かに闇を押し付
けていませんか？

『深淵のテレパス』

上條一輝著 東京創元社



どうぞ読むときは、
光を絶やさないと
ください
妙な怪談を聞いた日
から、高山カレンの
身の回りで怪現象が
起こるようになる。
彼女は「あしや超常
現象調査」に助けを
求めるが…。

『営繕かるかや怪異譚』

小野不由美 [著] (角川文庫)
KADOKAWA



解決するのは
霊能者ではなく
「営繕かるかや」
家で起こる怪異を集
めた短編集。しっか
りと怖いですが、温
かい気持ちにもなれ
るのでホラーが苦手
な方にもオススメの
一冊。

『火喰鳥を、喰う』

原浩 [著] (角川ホラー文庫)
KADOKAWA



ページをめくるたび
日常が
歪んでいく
戦死した大伯父の日
記が死没地から届い
た。空白だった日記
の最後に足された文
字。周囲で起こる異
変。日常がじわじわ
と侵食される恐怖を
あなたに。

『8番出口 = Exit 8』

川村元気 [著] 水鈴社



異変を見落とせば、
永遠にここから
出られない——
ゲーム「8番出口」
を元にした小説。地
下通路で異変を探し
、進むか引き返す
かの選択を繰り返す
。無事無限ループ
から抜け出せるか？

『学校の怪談じゃ、 ものたりない? : 君に繰る5つの恐怖』

澤村伊智/内藤了/梨/伴名練/藤ダリオ著
(角川文庫) KADOKAWA



あなたの「怖い」が
見つかるかも!?
何が怖いかわから
ない…そんなあなた
には、ホラー小説界
の人気作家が集結
したアンソロジーが
オススメ。あなたの
恐怖を見つけてみて
ね。

アドバイザー通信

第31回ライブラリーラウンジ

「大学生のための常識 ～最後の一問、あなたは解ける?～」を開催しました

7月2日(木) 3限、水田記念図書館において、第31回ライブラリーラウンジ「大学生のための常識 ～最後の一問、あなたは解ける?～」を開催しました。

本イベントでは、5つのジャンルのマナー問題に挑戦しながらキーワードを集め、最終問題のクリアを目指す謎解き形式の企画を実施しました。参加者からは「マナーやこれからの常識について学ぶことができた」「今回のようなマナー講座は勉強になった。講義単位で参加できるとさらに良いと思う」「多くの知識を学ぶことができた」などの感想が寄せられ、楽しみながらマナーや社会常識について学ぶ機会となりました。



デジタルマナー



テーブルマナー



名刺交換にチャレンジ

坂戸市立図書館主催ワークショップで講師を務めました

7月30日(木)、8月6日(木)、8月7日(金)、8月21日(金)の4日間、坂戸市立中央図書館において「楽しもう! 図書館を使った調べる学習コンクール応援講座」が開催され、学生アドバイザーが講師として参加しました。講座では、小学生に、本の探し方や調べ学習の進め方、まとめ方について支援を行いました。

4年目となる今回は、図書館の資料の探し方を楽しく学べるよう、新たに「絵本探しゲーム」を取り入れました。また、チーム対抗で実施したアイスブレイクの「お絵かき伝言ゲーム」では、参加者同士が協力しながら楽しく学べる雰囲気づくりを心掛けました。さらに、昨年度配布資料を見直し、内容を充実させることで、より分かりやすく学習を進められるよう工夫しました。



講座には小学3年生から6年生までの10名が参加し、「分かりやすく教えてくれた」「本を使った調べ方が分かった」「アイスブレイクが楽しかった」などの感想が寄せられました。学生アドバイザーによるサポートを通して、参加者が楽しみながら調べ学習への理解を深める機会となりました。

担当した学生アドバイザーの意見・感想

小学生に分かりやすく伝えるために工夫したことは?

- ・やるべきことを、順を追いつつ丁寧に説明するように心がけた。
- ・難しい用語を身近なものに例えて話した。

この講座を担当して感じたこと

- ・知りたいことや調べたいことへの興味関心がある子とそうでない子がいて、全体の足並みを揃えることは難しいことだと実感した。
- ・読んでくるようにと伝えた本を、漢字がわからないと言いながらも両親と一緒に読んできたと話してくれたことが嬉しかった。

日高市立図書館主催「一箱本棚」展示に参加しました

相互協力図書館である日高市立図書館より、ヤングアダルト世代の読書推進を図るため、一箱本棚(6棚)の制作企画の依頼があり、学生アドバイザーが6つのジャンルからそれぞれ10冊選書を行い、本の紹介POPや飾りつけを作成して展示しました。6月30日(火)～8月30日(日)日高市立図書館で展示されました。



高麗祭イベント Library Craft with Explore



10/31(土)
10:00～15:00
高麗祭で
イベントやるよ

みんな来てね!

